

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平4-99920

(43)公開日 平成4年(1992)8月28日

(51)Int.Cl.⁶
A 61 F 13/15

識別記号

府内整理番号

F I

技術表示箇所

7603-4C

A 61 F 13/18

3 8 3

審査請求 未請求 請求項の数2(全3頁)

(21)出願番号 実開平3-12172

(71)出願人 591044843

(22)出願日 平成3年(1991)2月12日

田中 千世香

滋賀県草津市矢橋町105-1

(72)考案者 田中 千世香

滋賀県草津市矢橋町105-1

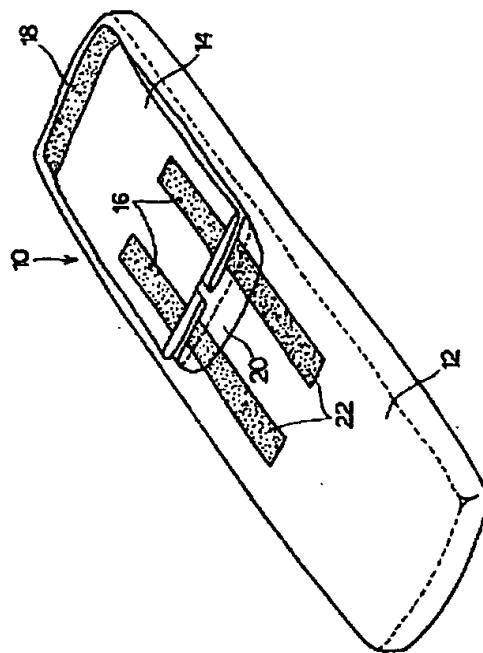
(74)代理人 弁理士 間宮 武雄

(54)【考案の名称】 生理用ナプキン

(57)【要約】

【目的】 特別な小袋等を携帯していくなくても、またトイレットペーパーなどを使用せずに、生理用ナプキンの使用後の処置を簡単に行なえ、廃棄しても衛生的である生理用ナプキンを提供する。

【構成】 ナプキン本体10の裏面12側に、そのナプキン本体12の全体を被覆可能な包袋14等の被覆手段を付着する。



1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 ナプキン本体の裏面側に、そのナプキン本体の全体を被覆可能な被覆手段を付着してなる生理用ナプキン。

【請求項2】 被覆手段がナプキン本体を収容可能な大きさの包袋である請求項1記載の生理用ナプキン。

【図面の簡単な説明】

【図1】 この考案に係る生理用ナプキンの構成の1例を示す全体斜視図である。

【図2】 図1に示した生理用ナプキンの使用に際しての状態を、ナプキン本体の一部を破断して示した斜視図である。

【図3】 生理用ナプキンの別の構成例を示す全体斜視図である。

【図4】 生理用ナプキンのさらに別の構成例を示す全体斜視図である。

【図5】 図1に示した生理用ナプキンの使用状態を説明するための図である。

【図6】～

【図10】 図1～図3に示した生理用ナプキンとは異なる

2

構成の生理用ナプキンにおける包袋へのナプキン本体の収納手順を説明するための図である。

【図11】 この考案に係る生理用ナプキンの変形例を示す全体斜視図である。

【図12】 図11に示した生理用ナプキンの、使用後の収納状態を示す側面図である。

【符号の説明】

10、50、60 ナプキン本体

12、62 ナプキン本体の裏面

14、24、34、54 包袋

16、26、36 包袋の粘着面

18、28 包袋の底部

20、30 しろ

22、32 粘着面

38 剥離テープ

40 締付け片

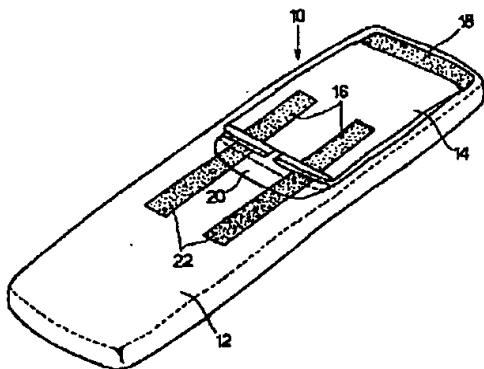
64 面状カバー

66 面状カバーの粘着面

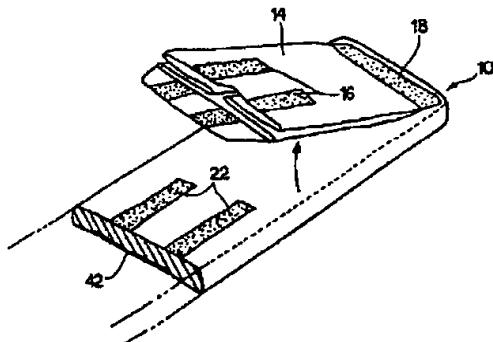
68 固着手段

70 粘着面

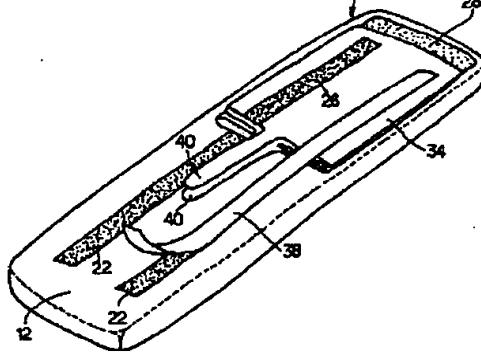
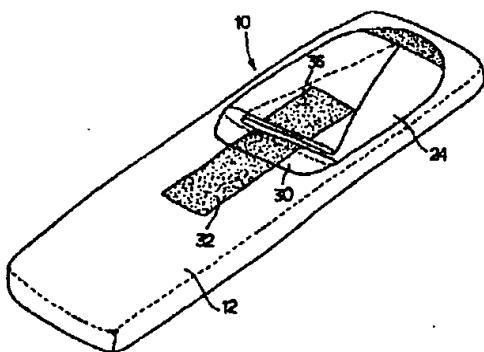
【図1】



【図2】



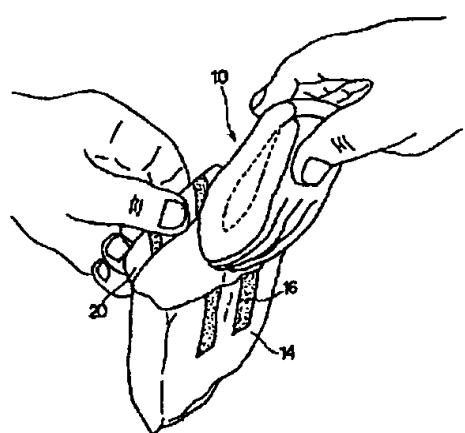
【図3】



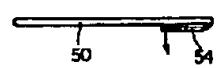
(3)

実開平4-99920

【図5】



【図6】



【図7】



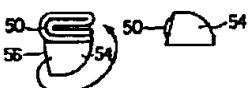
【図8】



【図12】



【図9】



【図10】

【図11】

